

# 琉球の平和主義

群星沖縄臨床研修センター・医師  
徳田 安春

世界最古の釣り針、日本最古の人類が発掘されている沖縄。人類史的には、沖縄の歴史は日本のなかでも最も長いものといえます。その歴史の中でも特筆すべきは、平和を愛する国をつくりあげたことでしょう。その琉球国は、小さい島国国家として繁栄するため、経済的には周辺諸国との貿易を行い、政治的に選択したのは平和外交でした。当時、極東に使者を派遣したフランスのナポレオンは、軍隊を持たずに繁栄している島国があることを知り、絶賛したのち、パリの中心街のある道路に「琉球通り」と名付けました。

16世紀に琉球で編纂された歌謡集「おもろさうし」全22巻は平和の価値の高さを示しています。琉球漆器や紅型など、貴重な伝統工芸品や衣装デザインは平和的国際交流を行なったからこそ生まれた豊かな文化でした。1804年に華岡青洲が世界で初めての全身麻酔を成功させたと日本の医学史では教えられていますが、正しくは、1689年に史上最古の全身麻酔手術が琉球国の高嶺徳明によりすでに行われていました。琉球での活発な医療国際交流のおかげだったのです。

哲学者カントは日本の鎖国政策を平和的であると評価しました。しかし、薩摩藩は徳川家康の了解を得て、琉球を軍事的に支配して奄美諸島を強制的に領有し、琉球の人々に重税を課したのです。琉球は食料不足で生き地獄となり、多くの人々が栄養失調で亡くなりました。琉球からの収益で力を付けた薩摩藩は長州藩と連携し明治政府をつくりあげることができました。明治維新達成の陰には琉球の苦しみがあったのです。しかし、明治政府はただちに琉球処分を行い、沖縄県として併合しました。

日米の激しい地上戦が展開された沖縄戦では20万人以上が死亡し、その過半数は民間人でした。子供や女性を含む多くの人々は、日本軍の正式な命令で集団自決を強制させられました。しかし最近、このような事実は、安倍政権による歴史修正主義により否定されるようにもなり、教科書検定により子供たちにも伝えられないようにされています。

戦後の米軍は、私の両親を含む、かろうじて生き残った人々を収容所に強制収容し、家と農地を奪って、基地や飛行場だけでなく、ゴルフ場などの軍人娯楽施設も建設しました。当時の国際法にも違反する行為で収奪された多くの土地は未だに返還されていません。基地があるがゆえの女性への暴行、軍用機事故、騒音被害や環境汚染などで、無数の人々が犠牲になり、それも現在進行形で続いています。

復帰前には、世界最大の核兵器基地ともなり、最大時は1300発の核兵器が装備されました。そのため、旧ソ連や中国からは無数の核ミサイルの標的地となっていました。沖縄の

貧しい人々に対する米軍支給としてタバコやコーラ、スパムが配布され、人々は生活習慣病で苦しむことになりました。ジャンクフードなどのアメリカナイズされた生活習慣も広がり、がん、肥満、糖尿病、などが急増し、都道府県平均寿命ランキングは急落しています。私は医師として、このような多くの患者さんを毎日診察し、歴史の影響を感じています。沖縄の戦前生まれの人々が比較的長生きしているのに、戦後生まれが早期に死亡している原因なのです。

このような「正しい」歴史をみれば、沖縄が辺野古新基地建設に反対する理由は当然です。日本政府は正しい歴史を知り、次世代の若者に伝えるべきです。そして、周辺諸国との平和外交で繁栄した琉球国を平和主義のモデルとして尊重すべきと思います。地球規模でみると、琉球国と同じように日本国も小さな島国です。隣国との貿易戦争や、境界領域の領土の奪い合いを行うのではなく、平和的国際交流で繁栄する日本を目指して欲しいと思います。

私は医師への教育活動を長年仕事として行っていますが、現代の医師にとって最も重要な資質は共感力であるといつもお話しています。皆が周辺諸国の人々の感情への共感力が必要です。

そして、医学教育者は、戦争中の731部隊や国内の医学部内での人体実験など、周辺諸国で行った数々の過ちを、学生や研修医に隠してはいけないと考えています。正しい歴史を伝え、知ることが、平和主義と民主主義のエネルギーになるものと思います。